

N 値計算 下屋部分の柱の荷重押さえ係数の設定追加

STRUCTURE設定(物件)

設定 壁設定 金具設定

柱脚・柱頭金物

N 値

金物名称

N 値計算

N 値

使用しない

使用する

1 m 範囲にある柱の直上に柱がある場合

検討対象としない

検討対象とする

壁倍率制限

壁倍率5.0倍の制限をする

壁倍率5.0倍の制限をしない

2階柱判定が大きき場合

直下の柱判定を合わせない

直下の柱判定を合わせる

表示記号の判定

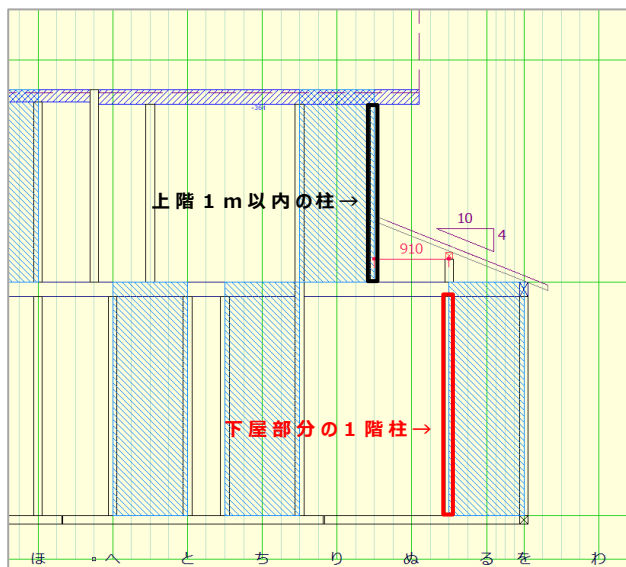
N 値

接合耐力 (kN)

1 m 範囲にある柱計算時の平屋建ての柱の荷重押さえ係数

平屋建ての柱の係数を採用

2階建ての1階の柱の係数を採用



鉛直荷重による押さえ効果

荷重押さえ係数	出隅の柱	その他の柱
平屋・2階柱	0.4	0.6
2階建ての1階柱	1.0	1.6

※初期は「2階建ての1階の柱の係数を採用」が設定されています。



下屋部分の1階柱のN値計算時に、上階の1m以内にある柱との組み合わせの場合の「荷重押さえ係数」を、“平屋建て”または“2階建ての1階柱”から選択できます。

- ① [設定] - [物件設定] をクリックします。
- ② 「金具設定」タブを選択し、「N 値」をクリックします。
- ③ 「1 m 範囲にある柱計算時の平屋建ての柱の荷重押さえ係数」で、平屋建ての柱の係数を採用 / 2階建ての1階の柱の係数を採用を設定して「OK」をクリックします。

